

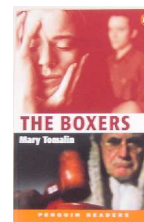
多読クラブ会員の皆様へ

書籍追加のお知らせ（2008年、新春号）

ペンギンのレベル3に16冊追加です。

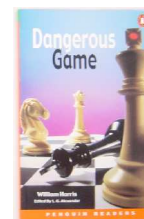
●The Boxers YL:3.0 総語数 9,100 (PGR3)

警察官の Michael Boxer がある日自宅で殺されます。彼は時に暴力的になり、たくさんの人に憎まれていました。一方、その妹の Jennifer は一人で4人の子育てをし、お金に困っています。さて、警察の主張どおりに被告の Jennifer が本当に殺したのでしょうか？たくさん証人が証言をします。お話の結末をきめるのはあなた自身



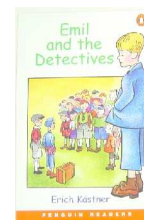
●Dangerous Game YL:3.2 総語数 14,000 (PGR3)

これは実際にあった話である。作者である William は愛妻を亡くした後、家にこもるようになった。一週間に一度親友の Louis が家に来てチェスをするくらいだった。ある晩、William はベッドルームに人気を感じた。彼はその存在に Poldy という名をつけ、毎晩一緒にあるゲームをするようになった。2人はそのゲームを楽しんでいたが、いつの間にかゲームは危ない方向に進み始め身の危険を感じるようになる。いったい、William はどうなってしまうのだろうか。いったい、Poldy は誰の幽霊なのだろうか。



●Emil and the Detectives YL:3.2 総語数 11,000 (PGR3)

Emil は、おかあさんからおばあさんに渡すお金を町にいく列車の中でうたた寝をしてお金を盗まれてしまう。犯人を見つけた Emil は町のたくさんの子供達の助けを借り、見張りをしたり、タクシーで尾行したり、見事犯人を追いつめる。



●Fall of the House of Usher and other stories YL:3.2 総語数 11,000 (PGR3)

狂気、嵐の海での死の恐怖、などをテーマに5編が収められている。1809年生まれのパーは探偵小説の父と言われている。いつも貧しく決して幸せな生涯ではなかった。酒におぼれ、身体的、精神的不調と戦っていた。The House of Usher に出てくる Roderick のように作品のなかにパーの姿を見ることができる。



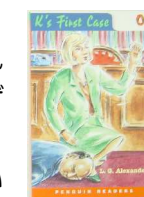
●Grey Owl YL:3.2 総語数 7,800 (PGR3)

Grey Owl 氏は、カナダに住むインディアンで自然保護活動家・作家として1930年代に非常に著名だった方です。特に、beaver の保護活動で知られ、映画も何本も作られたそうです。彼の生涯の光と陰を紹介します。結構おもしろいですが、それは読んでのお楽しみ。



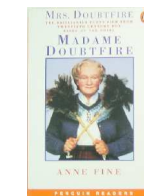
●K's First Case YL:3.1 総語数 8,400 (PGR3)

読者が謎解きをする探偵もの。レベル3の中でも易しい方。大金持ちのマイケルが自室で殺害された。その時家にいた5人にはだれもがマイケルを殺害する動機を持っている。愛の冷めた妻エリザベス、借りたお金を競馬ですってしまった戦友のウィリアム、マイケルの財産目当ての秘書兼恋人、会社のお金を湯水のように使うのを不満に思っている義弟、長年エリザベスに使えているお手伝い美人探偵のカトリナといっしょに密室殺人の謎を解きましょう。



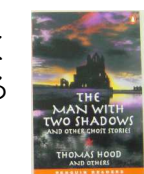
●Madame Doubtfire YL:3.2 総語数 6,600 (PGR3)

ロビン・ウィリアムズ主演の映画「ミセス・ダウト」の原作です。お父さんが家政婦に変装して、自分の子供たちの世話をし、幸せな家庭をとりもどす話です。



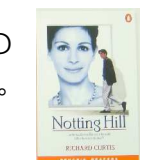
●Man with Two Shadows & Other Stories YL:3.2 総語数 7,800 (PGR3)

幽霊に関するお話6編。そのお屋敷で幽霊を見ると不幸が訪れる話。幽霊がお金の所在を教えてくれたため、ぬれぎぬをはらせた話。死から蘇った極悪人パットの話。自分を殺した犯人を捕まえるために幽霊になって戻ってきた男の話、他2編。



●Notting Hill YL:3.5 総語数 14,000 (PGR3)

イギリスのノッティングヒルという町で旅行書専門書籍の店を営むウィリアムズは、アメリカの有名な女優であるアナ・スコットと偶然の出会いを。住む世界の違う二人のラブストーリーです。



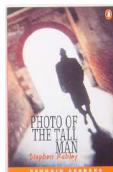
●Oscars YL:3.2 総語数 7,500 (PGR3)

映画好きにはたまらないアカデミー賞にまつわるレポート。その歴史や歴代の受賞者、大作なのに実は受賞していない作品、意外に知られていない事実など、クイズや役者のコメント、多くの写真を交えて紹介している楽しいカラー版。



●Photo of the Tall Man YL:3.1 総語数 10,000 (PGR3)

16歳の少女ケリーが田舎からロンドンに出てきた。叔父マックス、従兄弟アダムと一緒に住むためだ。その頃、ロンドンでは「the TALL MAN」による凶悪犯罪が起きていた。ケリーはマックスが何か重要なことにかかわっているらしいことを敏感に感じとっていた・・・なかなかのドキドキ story である。



●Turn of the Screw YL:3.2 総語数 6,700 (PGR3)

(恐怖小説)若い女性が大きなお屋敷の二人の子供、Miles と Flora の家庭教師として雇われた。ある日、男女の人影がお屋敷に現れる。かつての召使い Peter Quint と家庭教師の Miss Jessel の幽霊か？家庭教師は子供たちを守ることができるのか？



●No.1 Ladies' Detective Agency YL:3.2 総語数 7,800 (PGR3)

同名 PB の GR 本。Precious Ramotswe は、暖かい心の大きなアフリカの女性。そして、ボツワナ唯一の女性の私立探偵。ホームズのように鋭い推理でもなく、マーロウのようにハードボイルドでもないですが、ボツワナで起こる数々の事件を、彼女のやり方で解決してゆきます。アフリカを舞台にした小説は、重い現実がありながらもそれに飲み込まれずに人生を肯定して生きていく人たちがうまいと個人的におもっているのですが、この本にもそういうところがあります。



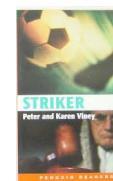
●Six Ghost Stories YL:3.2 総語数 9,500 (PGR3)

7号室の秘密は何？ウッド婦人を脅かすのはだれ？サムウェイの庭の木の秘密は？など、怖い話が6編。



●Striker YL:3.2 総語数 8,700 (PGR3)

戯曲の形で話は進んでいきます。イギリスの有名なフットボール選手（ゴールキーパー）が別の選手を訴えます。その法廷の場面が、はじめから終わりまで。飽きるような気もするかもしれませんが、熱血弁護士が法廷で弁を振るうシーンを浮かべてみてください。飽きません。ありえない話だけに惹き込まれていきます。



●多聴多読マガジン

今号は「アメリカの子どもベストセラーを読む」というという特集です。「ミステリで始める 100万語」著者のまりあさんが、児童書の楽しみ方や、なぜ児童書が英語習得に役立つのかをわかりやすく解説しています。



A to Z Mysteries シリーズ、会員さんから6冊の寄贈があり、これで26冊すべて揃いました。

●The White Wolf YL:3.3 総語数 9,000

A to Z Mysteries、23 作目。3人組は作家 Wallis の招待でメイン州の邸宅へ出かけます。そこで Wallis の娘と出会い、「白オオカミ」のことを知ります。近くの山に住む「白オオカミ」には最近3匹の子供が生まれたのです。望遠鏡で様子を楽しむ3人。その前で、あら大変、3匹の子供が盗まれてしまったのです。子供を盗まれた「白オオカミ」がかわいそう。3人は Eddie と一緒に犯人探しに乗り出します。手がかりは、男と女、帽子、そしてポニーテール。メイン州アカディア国立公園を舞台に、いつもより若干スケールアップした冒険談をどうぞ。(他に以下5冊)



●The X'ed-Out X-Ray YL:3.3 総語数 8,700

●The Unwilling Umpire YL:3.3 総語数 9,100

●The Zombie Zone YL:3.3 総語数 8,800

●The Yellow Yacht YL:3.3 総語数 8,600

●The Vampire's Vacation YL:3.3 総語数 8,400

この「追加書籍のお知らせ」の過去に発行したものは、すべてホームページに載せてあります。読みたい本が教室の書棚に見つからない時は、お気軽に私、ヘンミまでメールしてください。hemmi@e-pal.co.jp